

## 第30期第2回常任理事会議事録

日時：1998年9月14日（月）13時30分～17時10分

場所：気象庁内気象学会事務局

出席者：廣田，二宮，木田，城尾，住，関口，竹村，  
田中（博），中村（誠），新野，藤部，村松，  
山岸 以上13名

その他の出席：事務局（館）

### 議事

1. 第30期第1回常任理事会議事録の確認。

2. 各委員会関連議事

庶務…転載許可依頼への承認の報告：3件

(1)「天気」Vol. 8, 398の第3図 a, b を（社）  
雪センター刊行の「雪氷関連用語集」へ，  
社団法人 雪センターより依頼。

(2)「気象集誌」Vol. 72, 815の Fig. 6 を「気象  
学ハンドブック（簡約版）」の「数値予報」  
の項へ，東北大学岩崎俊樹会員より依頼。

(3)「気象研究ノート」第154号，2の第1図，11  
の第9図をコロナ社刊行の新型コロナシリー  
ズ「冬季雷の科学」へ，道本光一郎会員よ  
り依頼。

・後援名義等使用依頼の承認：4件

(1)第13回「大学と科学」シンポジウムの後援  
生きている地球の新しい見方  
—地球・生命・環境の共進化—  
公開シンポジウム組織委員会主催，1998年  
11月21～22日，朝日ホール（東京有楽町）  
にて。

(2)第27回全日本科学機器展の後援  
東京科学機器協会，日本工業新聞社主催，  
1998年10月27～30日，東京ビッグサイト（東  
京都江東区有明）にて。

(3)「流れの現象とその解明—流体力学の新発  
展—」の協賛

（社）日本流体力学会主催，1998年11月9  
～10日，工学院大学新宿校舎（東京都新宿  
区西新宿）にて。

(4)国際シンポジウム「トライアングル'98」の  
後援 エルニーニョと南方振動(ENSO)に  
ついて

海洋科学技術センター・地球フロンティア  
研究センター・国際太平洋研究センター主  
催，1998年9月29日～10月2日，（財）国立

京都国際会館（京都市左京区宝ヶ池）にて。  
・「気象科学事典」東京書籍との出版契約の取り  
交し

文案を基本的に了承し，細部の検討は編集委  
員長小倉義光会員に委ね，契約は学会名です  
ることにする。

・「第15回風工学シンポジウム」第4回運営委員  
会報告 8月7日

応募論文の査読結果（102件応募中，98件掲  
載），シンポジウム・プログラム，予算，運営  
要領の成文化等に関する議事について，委員  
内藤玄一会員より文書で報告。

・「地球惑星科学関連学会連絡会」の担当 前塩  
原理事から任理事に決定。

・第35回理工学における同位元素研究発表会の  
分担金（3千円）振り込み8月14日

・会費請求 請求文書の送付 賛助会員分8月  
10日，気象官署上半期分9月2日

・平成10年度文部省「研究成果公開発表（B）」  
の審査結果の報告  
沖縄支部の申請が採択された旨，同支部より。

・各賞候補者の推薦

1998年度朝日賞

シカゴ大学名誉教授 藤田哲也名誉会員

8月25日

第6回（平成10年度）日産科学賞

東大気候システム研究センター教授

中島映至会員 8月26日

第15回（平成10年度）井上学術賞

京都大学教授 津田敏隆会員 9月2日

平成10年度島津賞

郵政省通信総合研究所 岡本謙一会員

9月14日

・平成10年度科学研究費補助金「研究成果公開  
促進費」531万円受領 8月31日

・国際オゾンシンポジウム補助金（30万円）の  
送付 9月8日

・1999年度秋季大会（福岡）の本部補助金前渡  
し 961,170円 9月8日

この支払いは会場の予約金として使われ，今  
回は借料の半分，残りの半分は来年度支払。

会計…1998年7・8月の収支報告

天気…Vol. 45 No. 9 (1998年9月号) 掲載記事と、  
Vol. 45 No. 10～11号掲載予定記事の紹介  
気象集誌…Vol. 76 No. 5 (1998年10月号) 掲載記事  
の紹介  
気象研究ノート…1998年度の編集作業進捗状況の紹介  
編集作業がはかどり、本年度は195号まで発行  
できる見通しとなった。

#### 講演企画…学会大会の運営方法

本件については、前々から議論されているが、気象学会と気象庁の関わりとそのあり方に関連し、さらに議論を詰めていく必要がある旨、提起され、10月の理事会で議論することになった。

- 地球惑星科学関連学会の合同大会の開催  
地球電磁気学会の河野長氏より、従来以上に合同の度合いを強めることができないか、気象学会側の考え方を打診された旨、理事長から紹介があった。  
気象学会としては、従来から、大会を同時期・同地域で開催し、共通セッションを持つ形で協力するが、部門によっては相当異質の分野もあり、大会をすべて一緒に開催することは得策ではないとの考えで対応している。関連学会としての事務局設置などの問題もある。  
10月の理事会でさらに議論する。

#### 総合計画…講演会の開催（第29期第6回理事会議事録参照）

気象業務支援センターと共催で実施を検討していた標記の講演会について、気象技術講習会 専門課程（第1回）「メソ気象コース」として本年11月から実施することで合意に達した旨、担当理事から紹介があり、常任理事会として承認された。

#### 教育と普及…第32回夏季大学の決算報告。

各賞…各賞の候補者の推薦状況の報告（庶務報告を参照のこと）。

電子情報…1998年7・8月の気象学会ホームページのアクセス状況（それぞれ52,502件と57,319件）

ホームページの維持管理体制を今後どのように強化してゆくか、予算の申請も含めて委員会で検討することになった。

- 気象データ提供のネットワーク利用

気象庁の数値予報モデルの解析値および最新予測値の即時提供ルートの整備について、補助金への応募などの対応を検討している旨、報告があった。

学会として対応すべき件を集約し、提出するよう常任理事会として委員会に依頼した。

その他…平成11年度科学研究費補助金の審査委員候補者の推薦依頼

日本学術会議第4部部長から、「複雑系の科学」の分野に関し標記の依頼があり、各理事から名前の挙げられた数名の中から、本人の意向を確かめ、理事長の判断により、適当な候補者を推薦することになった。

#### 3. 会員加入状況

新入会員21名を承認、退会3名の報告。会員数4,722名（内、通常会員4,189名）。

#### 4. 1999年春季大会

当大会は、99年4月下旬に予定されており、例年に比べて約1か月早くなる。事業計画・予算案の作成や各種の作業を早める必要があり、支部での対応も含め、早めに対策を決め、準備するよう周知することになった。

#### 5. 学会会員データベース管理用プログラムの改善

会員データの管理および住所録作成のため、標記の管理用プログラムの改修が必要となり、納入業者から改修の必要部分とその見積もりが提出された。この提案に沿って改修することを承認した。

#### 6. 学会支部における毎年度財政状況の把握

最近の「公益法人」の事業実施に対し厳しい監視を求める社会の動きに対応するため、学会としても、地方支部を含めてその実体の把握を改善する必要がある。支部から年度毎の収支報告を求めるなど、その改善策につき会計担当理事から提案があった。

常任理事会として承認され、さらに10月の理事会で議論することになった。

#### 7. 「天気」論文・短報の掲載料徴収

1996年度の会計監査および第29・30期合同理事会において、「天気」の論文掲載料を投稿者から徴収することを検討するよう、監事から要望を受けていたが、委員会で発行の収支の推移、会員の負担、「集誌」とのバランス、「天気」の内容充実の計画などを検討した結果、「論文」と「短報」について掲載料を徴収するのが適当との結論に達し、理事会で議論するよう提案することになった。

10月の理事会で議論する。

#### 8. 評議員の選考

第30期評議員の選考に関し、次の常任理事会（10月12日）までに幅広い分野から候補者を探し、次の理事会に諮る手順とすることになった。

#### 9. 第2回理事会の議題

秋季大会に合わせて10月20日に仙台で開催される理事会で議論すべき議題として、常任理事会として、以下の議題を挙げた。また、各理事、各支部へも議論すべき議題の提案を求めることになった。

なお、理事会では学会の基本方針に関わることに議論を集中するため、日常の事務的に処理する事項は、常任理事会を別に開催し処理することとした。

- ・「天気」論文・短報掲載料の徴収
- ・気象学会の今後の方針  
地球惑星科学関連学会との合同行事  
IUGG (2003年札幌開催予定) への取り組み
- ・第30期評議員の選考
- ・支部等の財政状況の把握